企画広報課 ☎66◆1145

まちがいさがしクイズ

上下の絵を見くらべて、まちがいを８カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え（右の絵に○をつける）・②住所・③氏名（ふりがな）・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり３月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

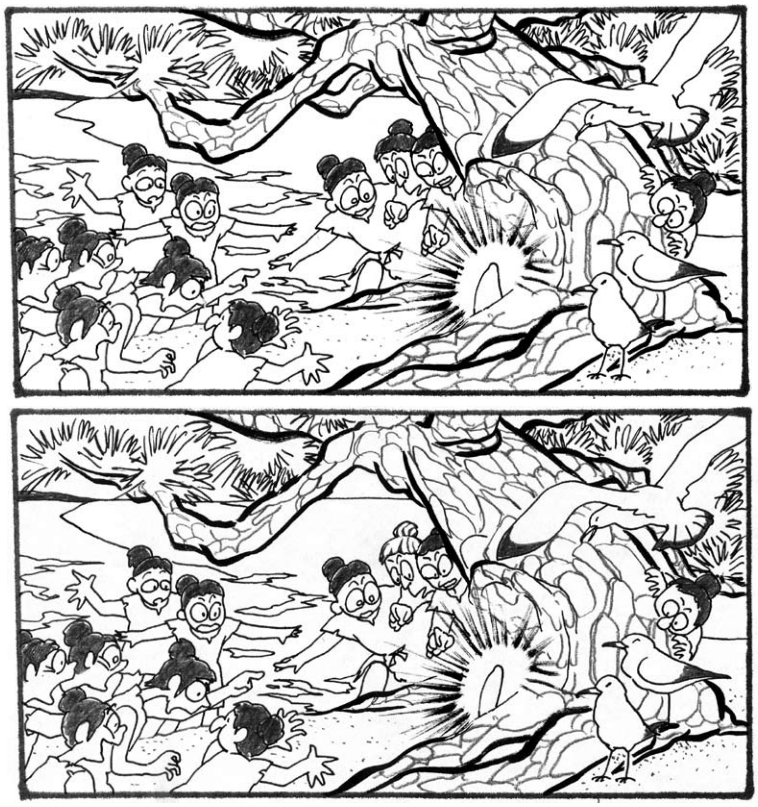
〒443-8601　旭町17番１号
企画広報課「クイズ」係
FAX66◆1190

応募締切

１月18日（金）

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は３月初旬に郵送します。



「吹上神明社」（三谷町）

秋の夜はちょっと肌寒いが、ここには子どもたちの声が響いています。

『今年も子どもたちは祭りのけいこにがんばっとるなぁ、昔は須田辺りは海辺で葦（あし）の茂る湿地じゃった。神明神社の始まりは、もっと昔、千340年も前じゃった。

あるひどい嵐の晩、海はものすごいうねりをあげて荒れ狂っておった。すると海の底に沈んでいた金属製の神像がむっくりと起き上がった。神像は不思議な霊光を放ちながらゆっくりゆっくり浮かび上がっていく…とその時　ブオオオオオオオオオ～～

突然風向きが陸のほうへ向いたかと思うと、突風が轟音を響かせて吹き上げてきた。その突風に乗るかのように霊光放つ神像はふわり空へと浮かび上がり、老松の根元へ降り立った。その途端、嵐は止み、海は穏やかないつもの景色へと戻った。夜が明けて村人たちがやってきた、

「あれ、あそこ見てみりん、なんか光っとるぞ」

「なんだ、なんだ…ありぁびっくりしたわ、こりゃ神様じゃないか」

「ほーだほーだ」「そうに違いねぇ」

「きっとこの神様はここに居りたいんだら」

村人たちがその物体を田の神様としてお祀りしたのが、神明（しんめん）さんの築山の所なんだと。

その後、伊勢神宮へ献木するため大木を海に流すと、みごと伊勢まで到着したので伊勢神宮より神明の号をいただいた。吹き上げられた神様だから、吹上神明社と呼ぶようになったんじゃったなぁ……』

「御上神楽（いんきょかぐら）さん、なにブツブツ言ってんのー？」

『ん？あぁちょっと昔を思い出してな。踊りの練習はもう終わりか？』

「うんー！今からおにごっこじゃんねー」

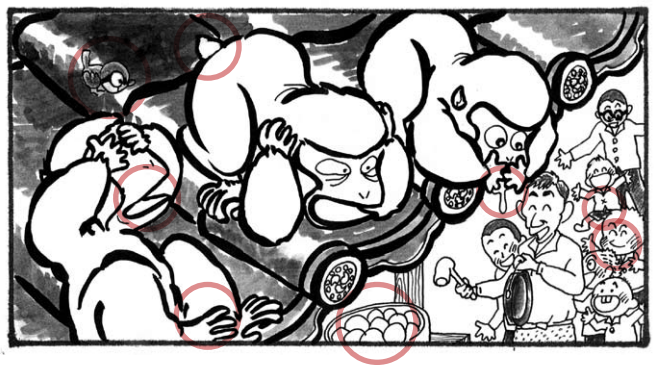
『ちゃんばらやら探検ごっこやら砂遊びやらみんな楽しそうーじゃな』

秋の夜、神明さんには大人たち・子どもたちとお迎えの母さんたちがワイワイ集まっているいつか懐かしい空間があります。

三谷町西区の神明神社の御上神楽は初代獅子頭で、蒲郡市指定文化財です。

現在のお社は昭和12年落成されたものです。当時境内に酒樽をつけた自墳の池があり鯉が泳ぎ、お社の前の道の南には蓮池がありました。神明神社は祭りのほかにも、地域活動・資源回収などの学校行事・子ども会活動で地域の人々の集まる場所です。

◆11月号の答え



11月号クイズまちがいさがし（庚申堂）の当選者

応募総数69通
正解者64人
当選者（敬称略・50音順）

中央本町　板倉高孝
水竹町　伊藤貴子
三谷北通　尾﨑和子
松原町　片山義弘
平田町　金澤佑季
竹谷町　北河千代
豊岡町　蜂須賀瑠夏
西浦町　牧原孝佑
竹島町　山口義弘
金平町　山本しのぶ

おめでとうございます。賞品は１月初旬に発送します。